

価格の働き

商品の需要量，供給量は，その商品の価格によってきまる．しかしそれだけではなく，その他のさまざまな要因の影響も受ける．価格の背後にあるそれらの要因が変化すると，均衡価格は変化する．このように，価格は，背後の要因の変化を示すシグナルとして働き，資源がどのように配分されるかをきめる．

I. 市場均衡とその安定性

A. 市場均衡

1. 需要法則と供給法則

a. 需要法則

- (1) 価格が高いほど需要量は少なくなる．
- (2) 需要曲線

b. 供給法則

- (1) 価格が高いほど供給量は多くなる．
- (2) 供給曲線

2. 市場均衡

- a. 需要量と供給量の一致
- b. 均衡価格 (p^*)

B. 均衡の安定性

1. 市場の不均衡

- a. $p > p^*$ → 供給量が需要量を上回る（超過供給）
- b. $p < p^*$ → 需要量が供給量を上回る（超過需要）

2. 均衡の回復

- a. 超過供給 → 価格の下落
- b. 超過需要 → 価格の上昇

II. 供給と需要

A. 需要側と供給側

1. 消費のための財サービスの市場

- a. 需要側： 家計
- b. 供給側： 企業，（家計）

2. 生産のための財サービスの市場

- a. 需要側： 企業
- b. 供給側： 家計及び企業

B. 需要量，供給量が価格の変化によって変化する理由

1. 個々の家計または企業の需要量，供給量の変化

- a. 価格が高いほど需要量は少ない．
- b. 価格が高いほど供給量は多い．

2. 家計，企業の数の変化

- a. 価格が高いほど，需要側の家計，企業数は少ない

- b. 価格が低いほど、供給側の家計、企業の数が多い。

III. 需要供給を決定する諸要因

A. 消費のための財サービス

1. 所得
 - a. 正常財または上級財 normal goods
 - b. 劣等財または下級財 inferior goods
2. 関連財の価格
 - a. 代替財 substitutes
 - b. 補完財 complements
3. 人々の好み
4. 将来に関する予想

B. 生産のための財サービス

1. 産出物の価格
2. 関連投入物の価格
 - a. 代替財
 - b. 補完財
3. 技術
4. 将来に関する予想

IV. 供給を決定する諸要因

A. 生産者の供給

1. 投入物の価格
2. 技術
3. 将来に関する予想

B. 消費者の供給

1. 労働の能力
2. 生産に使える資産（土地、建物など）の保有量
3. 消費のための財サービスの価格
4. 欲求
5. 将来に関する予想

V. 需要の変化と需要量の変化、供給の変化と供給量の変化

A. 需要量、供給量の変化と需要、供給の変化

1. 需要量、供給量の変化：価格変化にともなう需要量の減少、供給量の増加
2. 需要、供給の変化：需要曲線、供給曲線の移動（シフト）

B. 需要の変化（需要曲線のシフト）、供給の変化（供給曲線のシフト）の影響

1. 均衡価格と取引量の変化
2. 資源配分の変化

参考文献

教科書. 第 1 章.

Schumpeter, Joseph A. (1954) *History of Economic Analysis*. New York, New York: Oxford University Press. (東畑精一, 福岡正夫訳『経済分析の歴史』東京: 岩波書店, 2006 年.)

需要法則に関する附録

A. 需要法則の発見

Gregory King (1648–1712)

Crop of 小麦価格の観察

q	5	6	7	8	9	10
p	55	38	26	18	13	10

Natural and Political Observations and Conclusions upon the State and Condition of England in 1696.

Charles Davenant (1656–1714)

Essay upon the Probable Methods of Making a People Gainers in the Balance of Trade, 1699.

G. Undy Yule

$$y = -2.33x + 0.05x^2 - 0.00167x^3$$

“Crop Production and Prices: A Note on Gregory King’s Law.” *Journal of the Royal Statistical Society*, 1915.

B. 需要法則を用いた経済分析の古典

1. A. Augustin Cournot (1801–77)

a. *Les recherches sur les principes mathématiques de la théorie des richesses*, 1838. (富の理論の数学的原理に関する研究)

b. 市場競争の帰結に関する研究

2. Alfred Marshall (1842–1924)

a. *Principles of Economics*, 1890. (経済学原理)

b. 需要と供給の相互作用による価格と資源配分の決定